

平成 29 年 10 月 1 日から平成 29 年 11 月 31 日に、腹部 MRI 検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：肝臓 MRI における拡散強調像の画質向上に関する検討

研究期間：医学部附属病院長の許可日～平成 32 年 3 月 31 日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 准教授 本杉宇太郎

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

MRI は肝臓の評価に欠かせない画像診断法です。その中でも拡散強調像は特に有用な撮影法で、広く用いられています。しかしながら、拡散強調像は動きの影響を受けやすいという弱点があります。心臓の動きの影響を受けて肝臓の左側の部分がきれいに撮影できないことがしばしば問題となります。今回私たちは通常の撮影を行った後でパラメータを調整して画像を作る新たな手法を開発しました。この手法を用いることで心臓の動きの影響を減らすことができると期待しています。この研究はこの新しい手法が拡散強調像における肝臓の画質向上につながるか調べることを目的とします。

【研究の方法について】

本研究では、新たに開発した再構成法を用いて 4 種類の拡散強調像を作成します。（撮影は従来の手法で 1 回行うのみです。）信号収集後、再構成処理された MRI 画像を画像診断医が評価を行います。具体的には、肝右葉と左葉の信号強度と見かけの拡散係数を計測し、右葉と左葉の間で比較します。また、肝右葉と左葉の画質を定性的に 4 段階で評価し、4 種類の画像の間に差があるかを検討します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

平成 29 年 10 月 1 日から平成 29 年 11 月 31 日間に肝臓精査目的に当院で腹部 MRI 検査を受けた方

〈利用する情報・項目〉

臨床情報（年齢、性別、体重等）、MRI 検査データ

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護

し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部放射線医学講座

准教授 本杉宇太郎

メールアドレス：umotosugi@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6744